

## 高次元 (2 次元) 力学系と応用数理

荒井 迅<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 東京工業大学

e-mail : zin@c.titech.ac.jp

### 1 概要

力学系では 2 次元も高次元といいます。私が研究を始めた頃と変わらず、まだ多くの事が 1 次元の場合しかわかっていません。本講演では、高次元力学系に特有の現象や難しさを紹介しつつ、こんなことが出来たらいいなと思っていた古い夢と、いま模索している新しい夢の話をします。さきがけ総括として数学の応用に取り組む立場でもありますが、私自身は純粋数学のスタイルで研究をしてきました。そのせいか、20 年以上も 2 次元をはいずりまわっています。若い方の参考になるかどうかはわかりませんが、後悔はありません。

## 代数方程式系と線形偏微分方程式系

松原 幸栄<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 熊本大学先端科学研究部

e-mail : saiei@educ.kumamoto-u.ac.jp

### 1 概要

状況を客観視すれば、講演者は移民三世母子家庭の地方出身者であり、比較的貧しい生まれであったように思う。大学や大学院の選択は経済的要因が大きかった。偶然に導かれて選択した進路は案外明るいもので、研究主題も自由に設定することができた。ポストク時代に応用数学との接点が増えて以降、講演者の研究は、代数方程式系と線形偏微分方程式系の関係を探求するものと総括される。講演者は運良く大学にポストを得たが、これは幸運と周囲の研究者の善意の産物であった。研究における幸運と善意の具体例について、講演において触れる。